

産業界で活躍する技術系人材に 求められるものとは

定員
60名

日時 **10/1** 金
令和3年
15:00 ~ 17:00

会場

北九州学術研究都市
学術情報センター 1F
遠隔講義室 1

※会場は変更になる場合がございます。



第 8 回 連携大学院交流会

オンラインも同時開催

プログラム

15:05~16:05

講演 1 「愉快地に仕事をするための 7 カ条」

株式会社 MASURA 代表取締役社長 (元日本生命保険相互会社) 豊福 洋一 氏

16:10~16:40

講演 2 「連携大学院における人材育成の狙い ~今年度前半の活動を振り返って~」

九州工業大学 大学院生命体工学研究科 教授 田向 権 氏

16:40~17:00

事務局より「オフサイトミーティング開催について」

九州工業大学 大学院生命体工学研究科 教授 森江 隆 氏

(公財)北九州産業学術推進機構

自動車エレクトロニクスグループ コーディネータ 富村 道徳

参加される際について

※本年度は交流会を行いません。

※入室にあたり、マスク着用、入口での
検温・消毒、が必須となります。
予めご了承ください。

お申込み
お問合せ



(公財)北九州産業学術推進機構 イノベーションセンター

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号

TEL : (093)695-3006

FAX : (093)695-3439

URL:<http://www.ksrp.or.jp/fais/iac/>

E-mail:iac@ksrp.or.jp

イノベーションセンターHP

第191回産学交流サロン参加申し込みフォーム
もしくは裏面 FAX にて お申込下さい

産学連携部 北九州

検索



「愉快地に仕事をするための7カ条」

「連携大学院における人材育成の狙い
~今年度前半の活動を振り返って~」

株式会社 MASURA 代表取締役社長 (元日本生命保険相互会社)
豊福 洋一 氏

九州工業大学 大学院生命体工学研究科
教授 田向 権 氏

社会に出たら目覚めている時間の半分以上を仕事に費やすことになりま
す。どうせなら愉快地に働きたい。ビジネスマン生活 40 年を経て、たど
り着いた答えを披露します。

【話の構成】

- ①挨拶を愉しむ ②コンディションを敬う ③自分流を温める
- ④自分で自分を管理する ⑤組織で仕事をする ⑥仕事は追いかける
- ⑦信じる力を思い出す

【講師プロフィール】

1956年 福岡県八女市に生まれる。
1980年 中央大学法学部卒業同時、日本生命保険相互会社に入社
1988年 法人営業部門第一線で活動。最終役職は九州総合法人部長
2014年 日本生命を退職。地場中小企業の役員を経て、
2018年 組織活性化・人材育成支援を目的とした(株)MASURAを
設立。

コロナ禍の中、連携大学院の教育活動も大きな変革を迫られました。
深層学習のプログラミングが中心の「AIセミナー」、グループワークで
ロボットプログラミングに挑む「@ホームサービスロボット製作総合実
習」、これらの実施報告を通して、with コロナ時代の技術系人材育成
について考えます。

【講師プロフィール】

2006年 九州工業大学大学院生命体工学研究科
脳情報専攻 修士(工学)
同年 同大学院 博士研究員
2007年 東京農工大学 工学府 電気電子工学科 助教
2013年 九州工業大学 大学院生命体工学研究科 准教授
2021年 九州工業大学 大学院生命体工学研究科 教授



【事務局より】16:40~17:00 オフサイトミーティング説明会を行います!

ひびきのへのアクセス



北九州市営バス
折尾駅西口
→学研都市ひびきの
※所要時間約 15 分

[公共交通機関の場合]
鹿児島本線
『折尾駅』下車

[車の場合]
北九州都市高速道路
黒崎出入口(黒崎・折尾出口下車折尾方面へ)
学術研究都市
※北九州都市高速道路
黒崎出入口から
所要時間 20 分



FAX でのお申し込みはこちらから

(093)695-3439

※のある箇所は必ずご記入下さい。

第191回ひびきののサロン参加申し込み

ふりがな 参加者氏名 ※		参加方法 ※	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> WEB 参加
貴社名 ※			
所属・役職			
住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
E-mail ※			

メールマガジンによるサロン等の案内を 希望する 希望しない 登録済

ご記入いただいた個人情報は、(公財)北九州産学術推進機構が別途定めております個人情報保護方針に基づき細心の注意を払い取り扱います。無断で第三者に提供することはありません。当財団が関与する産学連携に関するイベント等について DM や E-mail 等にてご案内する場合があります。